

(4) 上記（「(1)～(3)」）以外の特長ある取り組みの概要

①教育力向上の取り組みの概要

- ・「学生による授業改善アンケート」導入（1994年度）
- ・「学生による授業評価」結果を教職員に公表し、情報共有（2001年度）
- ・「全学的一斉授業公開（オープンクラスウィーク）制度」導入（2003年度）
- ・FD・SD研修会の継続実施
- ・FD・SDの推進
- ・学生カルテ、学生ポートフォリオの構築・研究
- ・学生アンケートの実施と分析
- ・教育指導法の開発・改善に関する調査研究
- ・研究会、講習会、後援会、公開講座などの開催
- ・研究成果の刊行
- ・学生の学修相談
- ・オフィスアワーや学習の場所の提供に関すること
- ・初年次教育へのCA（class assistant）制度の導入（2015年度）
- ・2016年度入学生よりGPAを導入
- ・2020年度入学生よりGPAにより履修制限数の緩和と厳格化を実施
- ・2020年度入学生より履修制限外科目の見直し（経済学部：公務員特別クラス等）
- ・「授業公開デイ（保護者参観）」を実施（保護者が実際に授業を参観し教員と意見交換可能）（2007年度）
- ・「授業公開デイ」を祝日授業日に実施（2021年度より）
- ・教職員による学修相談（2022年度前期より）

②国際交流の概要

<海外留学制度>

- ・交換留学制度
2022年度 派遣0名・受入8名（中国4名・ベトナム2名・台湾2名）
- ・認定留学制度
2022年度 派遣4名（アメリカ4名）

<海外語学研修>

- ・夏季、春季を利用した研修プログラムで、各国の大学の寮やホストファミリーの家に宿泊しながら、語学プログラムを受講。期間は3週間程度。研修実施国（地域）は、隔年でアメリカまたはニュージーランド。
- ・2/9～3/5 ニュージーランド・ワイカト大学 参加者9名（日本人8名・中国人留学生（香港）1名）

<異文化理解>

- ・2022年度は、長崎：ハウステンボス。参加者9名、引率教職員2名
※「気づきの教育」の科目として位置づけられるが、2022年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、1年次で参加ができなかった上級生も履修可能として運用。

<English Café>

- ・英語に興味はあるが、英語に自信がなく、どのように学習すれば良いかわからない状況の学生が、まず第一歩が踏み出せるように、「カフェ」のような場所を提供する。また、海外研修や短期留学に金銭的な問題で参加できない学生をフォローする意味でもこのEnglish Caféをキャンパス内ミニ留学の役割を果たす存在とする。

2022年度 [前期] 月曜日：16:20-17:20、水曜日：13:00-14:30、金曜日：14:40-16:10

延べ207名参加

[後期] 月曜日：16:20-17:20、水曜日：13:00-14:00、金曜日：14:40-15:40

延べ146名参加

<海外の提携校>

- ・台湾・・・国立高雄科技大学、南台科技大学、中国科技大学
- ・韓国・・・東亜大学校、中央大学校、東明大学校、明知大学校
- ・中国・・・南開大学、東北財経大学、大連海事大学、復旦大学経済学院、蘇州大学応用技術学院、南京大学外国部→南京大学大学外語部、四川外国語大学、天津商業大学、常熟理工学院、常州観光ビジネス高等職業技術学院
- ・ベトナム・・・貿易大学、ホーチミン市師範大学、タンロン大学、ダナン大学、ハノイ国家大学外国語大学
- ・タイ・・・カセサート大学、ブラパー大学、パンヤピワット経営大学

- ・ニュージーランド・・・ワイカト大学
- ・アメリカ・・・ポートランド州立大学、セントラルワシントン大学
- ・フィンランド・・・バーサ大学
- ・フランス・・・ESC ブルターニュブレスト

<留学生支援課>

- ・留学生が日本で学生生活を送るためには、日本の法律を遵守すると共に、一人一人の人生や目標を大学側とよく話し合い、相談しながら「なりたい自分」に向って進んで行く必要がある。特に留学生に関係する法律や入国関係の知識を持ち、留学生に寄り添って各種支援を行なうために留学生支援課が設置されている。

③社会や企業と連携した社会共創活動の概要

<活動実績（2022年度）>

- ・第6回神戸学生イノベーターズ・グランプリ（I-1グランプリ）

概要：六甲山観光株式会社の協力のもと「コロナ禍により大打撃を受けた、六甲山観光の収益改善」をメインテーマに実施。本学からは12チームが参加。実際に六甲山上の施設（六甲ケーブル・六甲山アスレチックパーク GREENIA・ROKKO 森の音ミュージアム・六甲ガーデンテラス）を訪れ、現状分析、データ収集、コンセプトからターゲット層などをまとめ、若者ならではの視点からそれぞれ個性あふれる提案が行われた。GREEN PEER（清水信年教授指導『商品開発特別研究Ⅱ』クラス）が優勝、king（清水信年教授指導『商品開発特別研究Ⅱ』クラス）が準優勝、摩爾4（清水信年教授指導『商品開発特別研究Ⅱ』クラス）が特別賞を受賞。

連携先：六甲山観光株式会社

日程：2022年7月～2022年12月

参加状況：3大学（本学・神戸芸術工科大学・兵庫県立大学）、15チーム・66名（本学：54名・12チーム）

- ・Student Innovation College（Sカレ2022）

概要：マーケティングを学ぶ31大学36ゼミ531名の3年生がゼミ対抗で、8テーマの商品企画をFacebookで公開し「いいね！」で支持を集め、コメントで改善し、発売を目指す商品企画コンテスト。「秋カン」（大会）でコンセプトを、また「冬カン」（大会）で商品化権を最終プランで競い合い、翌秋カンでは発売実績にもとづき総合優勝を争奪する。本学では、2008年より後援団体としてSカレを支援しており、清水信年ゼミが参加。

【取組テーマ】

- ・「体験価値のある段ボール商品」（株式会社美販）
- ・「地球が笑顔になる通販配送箱」（株式会社ディーエイチシー）
- ・「マグネット商品でSDGs!」（ニチレイマグネット株式会社）
- ・「未来が描けるノートづくり」（大阪書籍印刷株式会社）
- ・「アウトドア商品・PR企画」（田村駒株式会社）
- ・「花×キャンディでSDGs」（春日井製菓株式会社）

連携先：Sカレ委員会

日程：2022年6月～2022年12月

参加状況：全国31大学（愛知学院大学・追手門学院大学・大阪市立大学・関西大学・関西学院大学・京都産業大学・京都橘大学・共立女子大学・近畿大学・甲南大学・神戸大学・駒澤大学・滋賀県立大学・滋賀大学・専修大学・高崎経済大学・中京大学・同志社大学・名古屋市立大学・南山大学・日本大学・兵庫県立大学・法政大学・武庫川女子大学・武蔵野大学・明海大学・目白大学・山梨学院大学・立命館大学・流通科学大学・和歌山大学）36ゼミ・531名

- ・洲本市×流通科学大学 域学連携プロジェクト

概要：2020年度にスタートした洲本市の住民や行政と連携して地域の活性化を図る課題解決プロジェクト。4ゼミと個人エンタリーの1年生の9チームが参加。『鮎屋（あいや）地区』の観光資源・特産品を活用した地域活性化提案をメインテーマに、現地視察を行い、地域の人々との対話のなかで地域の魅力について学び、若者ならではの斬新なアイデアをまとめ提案を実施。

最優秀賞：Team あいす（辻本乃理子ゼミ）

優秀賞：すもとにすもう（白貞壬ゼミ）

連携先：洲本市

日程：2022年4月～2022年9月

参加状況：9チーム（清水信年ゼミ4年生・白貞壬ゼミ3年生・辻本乃理子ゼミ3年生・山川拓也ゼミ3年生・金承珠准教授指導1年生（個人参加））・参加者総数34名

- ・尼崎市内企業魅力発信事業

概要：尼崎市役所から紹介いただくものづくり企業の技術力を生かし、マーケティングを学ぶ大学生が新商

品やマーケティングの企画提案を行う事業で、2015年度より清水ゼミが参画。2021年10月から2022年5月までの半年間、ニナクル.terraにご協力いただき、「食品サンプルを通じた新しい消費経験の提案」をテーマに食品サンプル技術の特性を生かした消費者向け新商品やイベントなどの企画、またそれを広く社会にアピールすることにつながるマーケティング施策（SNSの利用など）の提案を実施。

連携先：尼崎市経済環境局

参加状況：20名（清水信年ゼミ3年生）

・瀬戸内カレッジ

概要：JR西日本・自治体・大学が連携し、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す産官学のプロジェクト。岡山、広島、香川、愛媛の4県に、今年度は新たに山口県を加えた5県を対象に、7大学（+関西観光教育コンソーシアム）10チームが参加。本学からは羽藤ゼミが参加し、山口県周防大島町の魅力を最大限に生かすため、“アオハル”をテーマに、“合宿中の大学生”をターゲットとしたプランを提案。2年連続となるアイデア・プレゼン賞を受賞。

連携先：西日本旅客鉄道株式会社、株式会社JR西日本コミュニケーションズ

日程：2022年5月～2022年12月

参加状況：13名（羽藤雅彦ゼミ3年生）

・流通科学大学×兵庫県警察神戸西警察署連携計画：○×クイズによる交通安全啓蒙活動

概要：神戸西警察署交通第1課と連携して地域の交通安全の向上につながる企画を検討し、実施する2021年度からの継続プロジェクト。今年度は、ホームページ形式の小学生向け交通安全○×クイズを作成し、神戸市西区の小学校で交通安全啓蒙のための授業を実施。活動を通じた地域社会への貢献が評価され、神戸西警察署から感謝状が授与された。

連携先：兵庫県警察神戸西警察署

日程：2022年6月～2023年3月

参加状況：5名（関陽ゼミ4年生）

・千林商店街における「第6回千林昭和写真展」（中内功の歴史文化展示）

概要：2019年度より長坂ゼミの学生が、ダイエー発祥地でダイエーに親しみを持つ店主、近隣住民が多数存在する千林商店街で、ダイエーの歴史文化展示及び、クイズを実施。今年度は、本学内にある中内功記念館やダイエー資料館での調査を行い、学生が出題者として登場する千林商店街や中内功氏に関する3択クイズ動画を作成し、クイズ大会を実施。

連携先：千林商店街振興組合、京阪電鉄株式会社

日程：2022年10月～2023年1月

参加状況：14名（長坂泰之ゼミ2年生）

④地域交流・連携 活動一覧（2022年度）

・加東市との社会共創プログラム

概要：“観光”を通じた地域産業の活性化施策」をテーマに、2大学（本学・関西国際大学）、7ゼミ・13チームが参加。現地調査の結果を踏まえ、加東市の観光資源を生かし、観光を地域産業にするための観光施設の周遊プラン、既存施設の活用方法、イベント提案、情報発信など若者ならではのアイデアや視点を盛り込んで提案を実施。

最優秀賞：山川ゼミC（山川拓也ゼミ）

優秀賞：前川組（前川明ゼミ）

商工会長賞：山川ゼミA（山川拓也ゼミ）

連携先：加東市産業振興部商工観光課

日程：2022年4月～2022年10月

参加状況：2大学（本学・関西国際大学）、7ゼミ・13チーム（本学：6ゼミ（井上芳郎ゼミ3年生・上瀧真生ゼミ3年生・銅直優子ゼミ3年生・福岡寿美子ゼミ3年生、4年生・前川明ゼミ3年生・山川拓也ゼミ3年生）・10チーム・53名）

・産官学連携事業：New KOBE New Self ～在神企業への課題解決プレゼン大会～

概要：神戸の企業やまちが直面している課題を共有し、ともに解決策を考えていく課題解決プログラム。また、その過程で学生が神戸のまちの魅力、神戸経済を担う中小企業について知り、将来の職業選択に生かす機会づくりとなることを目的とした産官学連携事業。中間プレゼン大会ではそれぞれのチームが担当する企業に対して、提案を実施しそこで選ばれた1チームが最終プレゼン大会に出場。本学からは5チーム（4ゼミと個人参加チーム）が最終プレゼン大会に進出した。

【担当企業】

・秦洋二ゼミ：神戸市立須磨海浜水族園

- ・白貞壬ゼミ：株式会社 EGIJ
- ・柿沼英樹ゼミ：神戸市役所
- ・後藤こず恵ゼミ：富永貿易株式会社
- ・石橋仁美ゼミ：株式会社ラススイート
- ・個人参加 A チーム（商学部 1 年生・2 年生）：株式会社ポトマック

連携先：一般社団法人神戸青年会議所

日程：2022 年 4 月～2022 年 10 月

参加状況：45 名（秦洋二ゼミ 3 年生・白貞壬ゼミ 3 年生・柿沼英樹ゼミ 3 年生・後藤こず恵ゼミ 4 年生・石橋仁美ゼミ 3 年生・個人参加（商学部 1 年生・2 年生））

- ・コイズミ物流株式会社との連携企画

概要：コイズミ物流株式会社の物流センターを見学し、物流センターの改善、労働環境の改善、物流企業の PR 方法を提案するプロジェクト。物流業界についてさまざまな角度から調査を行い、データや事例を用いて提案を実施。

連携先：コイズミ物流株式会社

日程：2022 年 4 月～2022 年 10 月

参加状況：23 名（李志明ゼミ 3 年生・田中康仁ゼミ 3 年生）

- ・温泉街をめぐるスタンプラリープロジェクト

概要：スマホを使用し、ゲーム感覚でまち歩きを楽しむスタンプラリー企画：『てくログ』を提案し、【六甲有馬ヒルクライムフェスタ 2022】の“賑わいイベント”に於いて、学生自ら運営を実施。サイクルイベント参加者と地元の人たちとの交流促進や地域活性化に貢献した。

また、本プロジェクトの研究発表を、神戸県民センターや一般社団法人日本観光経営学会主催「第 2 回次世代観光経営フォーラム」にて、実施。次世代観光経営フォーラムでは奨励賞を受賞。

テーマ：「新時代の地域振興スタンプラリーてくログ ーてくログ in 有馬実践報告ー」

連携先：六甲有馬ヒルクライムフェスタ実行委員会

日程：2022 年 5 月～2022 年 9 月

参加状況：6 名（西村典芳教授指導【個人エントリー】：商学部 1 年生・経済学部 3 年生、2 年生・人間社会学部 3 年生、1 年生）

- ・地域との協働による吉野山観桜期交通対策の実施

概要：1 日に 3 万人以上が訪れる観桜期の吉野山において、観桜客の移動の円滑化を図ることを目的とした交通対策の運営を吉野町役場や吉野ビジターズビューローと協働して実施。また当日の状況や収集データ（駐車台数やシャトルバス乗車人員など）を分析し、交通対策における問題点を把握し、地域に対して改善提案を実施。

連携先：吉野町役場、吉野ビジターズビューロー

日程：2022 年 4 月～2023 年 3 月

参加状況：21 名（岸野啓一ゼミ 4 年生・3 年生）

- ・第 13 回関空発『学生と旅行会社でつくる』海外旅行企画コンテストに於ける（株）読売旅行との協働

概要：「関西国際空港発着の国際線航空便を利用して訪問できる国や地域」への「学生らしい斬新な発想かつ実効性のある旅行企画」を募集するコンテスト。応募総数 43 企画、最終審査に進んだ 7 企画の中から、山川ゼミの旅行企画『コロナ前は定番、コロナ後に新鮮で新しい中世と現代をタイムスリップ!? ドイツ菓子を楽しみながら世界遺産で巡るロマンチック・ドイツ 8 日間』が優秀賞受賞。

連携先：一般社団法人日本旅行業協会（JATA）関西支部、関西エアポート株式会社

日程：2022 年 4 月～2022 年 7 月

参加状況：1 名（山川拓也ゼミ 3 年生）

- ・神戸ワイン認知拡大プロジェクト

概要：神戸ワインが抱えている課題を解決するため、神戸ワイナリーにてブドウ生産やワイン醸造について学び、神戸ワインの認知拡大につなげる提案・企画運営を行うプロジェクト。ワインセミナーや園場での除葉作業・収穫体験を行いながら、認知拡大に向けた提案や商品開発に取り組み、10 月に神戸ワイナリーで開催された『新酒まつり』では、学生自らがぶどうの収穫からラベルデザインまでを手掛けた神戸ワイン“みのり”を販売した。また、一般社団法人日本観光経営学会「第 2 回次世代観光経営フォーラム」にて、本プロジェクトの研究発表を行い、優秀賞を受賞。

テーマ：「神戸ワイン認知拡大プロジェクト」

連携先：一般社団法人神戸農政公社

日程：2022 年 5 月～2022 年 10 月

参加状況：14 名（西村典芳教授指導【個人エントリー】：商学部 1 年生、3 年生・経済学部 2 年生、人間社

会学部1年生、3年生)

・西宮ストークス (Bリーグ)、目指せ集客増！プロジェクト

概要：試合を観に来てもらうきっかけをどのように作るのか、実際に会場を訪れてくれたお客様の満足度をどのように向上させ、再来場いただくのか、ホームゲームの視察や、マーケティング手法に基づく、知識とスキルを活用し多角的に集客増のための提案を実施。2023年3月5日(日)西宮ストークスホームゲームにおいて、学生が提案した3企画(神戸市内のキッズバスケットボールチームにより前座試合、本学ダンス部・RUBUによるハーフタイムのダンスパフォーマンス、及び抽選会)のイベント運営を学生自らが実施。

連携先：西宮ストークス

日程：2022年6月～2023年3月

参加状況：6名(西村典芳教授・青山将己講師指導【個人エントリー】商学部3年生・人間社会学部2年生、3年生)

・神戸平野エリア KIKKAKE プロジェクト

概要：神戸市兵庫区平野地区の空き店舗を改修し、カフェ空間として整備されている「カフェ&バー」を活用し、長坂ゼミの3年生、2年生がそれぞれ地域に貢献できる店を出店。社会人基礎力を養成するとともに、平野地区にない新たな価値を見出すことで、地域貢献を果たそうとする取り組み。事業計画を立て、周辺調査・分析、メニュー作成、販売促進等を学生自らがを行い、1日限定のカフェを営業。

連携先：株式会社スクリーフ (KIKKAKE PLACE 運営)

日程：【3年生ゼミ】2022年4月～2023年3月

【2年生ゼミ】2022年12月～2023年3月

参加状況：29名(長坂泰之ゼミ3年生・2年生)

・高田松原周辺に訪れる観光客をいかにしてまちなかにきていただくか

概要：陸前高田市は東日本大震災の津波被害で壊滅的な被害を受けたが、復興が進み、高田松原周辺の津波伝承館、道の駅、奇跡の一本松などの観光地には多くの観光客が来訪しつつあるものの、まちなかを来訪する観光客は一部であり、まちなかの魅力が十分に認知されていない。そのため陸前高田市の“まちなか”の活性化のため、“まちなか”を含む陸前高田の魅力を「見える化」し、新しい観光ルートを提案した。

連携先：陸前高田市役所、陸前高田商工会

日程：2022年6月～2022年12月

参加状況：15名(長坂泰之ゼミ3年生)

・稲美町魅力発信事業

概要：今年度は、これまでの収穫体験等のイベント企画を中心とした内容から大きく様変わりをし、町が実施しているインスタグラム事業と若手・職員研究事業の支援を実施。学生が稲美町の行事やお勧めスポットを取材し、TikTok や Youtube、Instagram などのソーシャルメディアで町の魅力を発信するためのデジタルコンテンツを作成。

連携先：兵庫県加古郡稲美町

日程：2022年4月～2023年3月

参加状況：26名(秦洋二ゼミ3年生・森藤ちひろゼミ3年生)

・(株)宿場 JAPAN に対する神戸市灘区のコミュニティ・ベースド・ツーリズム計画の提案

概要：多文化共生の基盤づくりをテーマに「地域融合型」宿泊施設の企画・運営・開業コンサルを生業とする(株)宿場 JAPAN の協力のもと、神戸市灘区水道筋商店街・灘中央市場界隈にある地域生活資源を活用した CBT (Community Based Tourism) の観点から、非観光地であるローカルな日常生活区域内での持続可能性に配慮した観光マーケティング戦略として、「新しいタイプの観光施設の創造的計画」と「新しいタイプの観光施設を媒介とした観光としての人的交流の創出」に資する提案を実施。

連携先：株式会社宿場 JAPAN

日程：2022年9月～2023年1月

参加状況：16名(山川拓也准教授指導『観光施設計画論』クラス：2年生、3年生)

・吉野町シェアリングエコノミーサポートⅡ

概要：地域住民とともに地域活性化に向けた取り組み、①地域住民の書籍をシェアする取り組みである「吉野まちじゅう図書館」の拡充支援(ガイドブックのリニューアルと図書館2施設の立ち上げ)②空き家や古民家を活用したプロ・アマ音楽イベント「音街道」ボランティア(音楽イベントの設営・運営・撤収)、を実施。本と音楽を介した住民間・訪問者の交流を促進した。

連携先：奈良県吉野郡吉野町役場

日程：2022年5月～2023年3月

- 参加状況：20名（森藤ちひろゼミ 3年生、4年生）

・神戸市・須磨区への外国人観光客誘致に向けた観光政策の提言
 概要：神戸市や近隣の須磨区の歴史や文化、現状について理解を深め、留学生の観点から神戸市や須磨区の観光活性化のための施策・政策を提言。
 連携先：神戸市須磨区総務部まちづくり課、神戸市経済観光局観光企画課
 日程：2022年9月～2023年2月
 参加状況：34名（上田義朗ゼミ 2年生）
- ・神戸商工会議所支援「岬の焙煎所」へのマーケティング提案
 概要：神戸商工会議所の支援企業であるコーヒー焙煎所（「岬の焙煎所」）に対し、綿密な市場調査に基づき、学生ならではの目線からビジネス展開や新商品、新サービスなど新規顧客開拓のための提案を実施。
 連携先：神戸商工会議所、岬の焙煎所
 日程：2022年10月～2023年1月
 参加状況：37名（後藤こず恵准教授指導『商品開発特別研究Ⅰ』クラス：2年生、3年生、4年生）
- ・スポーツイベントの企画運営
 概要：赤穂シティマラソン大会を題材に、スポーツイベントの企画運営を学び、赤穂市に対しマラソン大会活性化のための提案を実施。
 連携先：赤穂市教育委員会スポーツ推進課
 日程：2022年9月～2022年12月
 参加状況：13名（山口志郎准教授指導『健康サービス企画運営演習』クラス：3年生、4年生）
- ・神戸空港・フジドリームエアラインズの知名度向上、利用者増に向けた提案
 概要：神戸空港やフジドリームエアラインズの現状を理解し、調査を行い、株式会社フジドリームエアラインズの知名度向上、及び神戸発着を中心とした利用者増に向けた企画、提案を実施。
 連携先：株式会社フジドリームエアラインズ（神戸営業支店）
 日程：2022年12月～2023年2月
 参加状況：16名（岡田恵実ゼミ 2年生）
- ・現役大学生が企業を採点！合説プレゼンフィードバック大会
 概要：2024年3月卒業予定者向けのインターンシップ合同説明会に出展する企業に対し、対象企業のブースで説明を聞いた学生が、付度・遠慮一切なしで、説明会でのプレゼンテーションや立ち居振る舞いなどについて企業を評価し、学生目線でブース説明をよりよくするための提案を実施。
 連携先：株式会社ダイネンヒューマン plus
 日程：2022年11月～2023年1月
 参加状況：9名（前川明ゼミ 2年生）
- ・流通科学大学「国際交流バスツアー」企画・運営の受託
 概要：本学留学生支援課が担当する国際交流バスツアーの企画・運営に係る業務の一部について、観光商品マーケティングでの実践型プロジェクトとして実施。大学を顧客（発注者）に見立て、ツアーの企画立案・当日添乗・参加学生のフォローといった旅行業務全般を担当。
 連携先：名鉄観光サービス株式会社
 日程：2022年9月～2023年2月
 参加状況：6名（山川拓也ゼミ 2年生）
- ・ロジスティクス研究発表会
 概要：日雑業界や企業の現状・課題の共有、企業人との情報交流を通じて、ロジスティクスへの理解を深め、この分野を支える人材育成支援を目的とし、物流・ロジスティクス・サプライチェーンマネジメント（SCM）・流通関連を学ぶ学生を対象に、企業による事例紹介、および研究課題の出題からなる「講演会」と課題研究に取り組む学生を対象とした「フォローアップミーティング」、研究成果を発表する「研究発表会」を実施。「研究発表会」では、『ロジスティクス視点でのSDGs対応』、『災害時の物流』、『物流のデジタル化』、の3つのテーマから1つを選択し、解決案の提案・発表を実施。
 連携先：日本ロジスティクス協会
 日程：2022年10月～2022年12月
 参加状況：12名（田中康仁ゼミ 2年生）
- ・NTTドコモ レッドハリケーンズ大阪 観戦者調査プロジェクト
 概要：集客増に向けた基礎資料を得ることを目的にアンケートを設計し、スタジアムにおいて観戦者調査を実施。次年度はそのデータ分析し、報告書の作成、及び報告会を実施予定。

連携先：NTT ドコモレッドハリケーンズ大阪

日程：2022年12月～2023年3月

参加状況：12名（山口志郎ゼミ 2年生）

・2022年度人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ

概要：経済産業省がとりまとめ定義した「人生100年時代の社会人基礎力」の育成に資する各大学の取り組みと、その取り組みで成長を遂げた学生の多様な実例を審査、表彰し、その実例の周知を目的に実施される「人生100年時代の社会人基礎力育成グランプリ」に本学から、長坂ゼミと三原ゼミが参加。近畿地区予選大会で、長坂ゼミが【優秀賞】と【審査員特別賞】をダブル受賞

【長坂ゼミ】

- ・テーマ：カフェ出店及び観光企画提案を通じた課題先進地域の支援
～カフェ出店（神戸平野＝平野PJ）及び観光ツアー（津波被災地＝陸前高田PJ）～

【三原ゼミ】

- ・テーマ：小学校低学年を対象とした交通安全教材の開発と実践を通じて身につけた力と気づき

連携先：一般社団法人社会人基礎力協議会

日程：2023年1月～2023年2月

参加状況：2チーム（長坂泰之ゼミ 3年生、三原裕子ゼミ 3年生・4年生）・参加総数8名

・Ryuka Innovation Team (RIT)

概要：学年や学部に関係なく、商品開発などの社会共創プログラムに興味があるメンバーで、商品開発、売り場展開やプロモーションまでを含めた総合的なマーケティング課題に取り組む「Only1・No.1」の本学独自のプログラム。今年度は西神中央駅周辺の市場調査をもとに、西神中央文化・芸術ホールのプロモーション動画の作成、【六甲有馬ヒルクライムフェスタ2022】の“賑わいイベント”としてのスタンプラリープロジェクトの企画・運営、及び「神戸ヘルスケア市民サポーター制度」について、デジタルツールを活用した調査や学生自身がモニターとして参加し、課題となっている「若～中年層の登録者増」に繋がる施策の検討を行った。

連携先：株式会社シアターワークショップ、一般社団法人DOR、神戸芸術工科大学、
神戸医療産業都市推進機構

日程：2022年4月～2023年3月

参加状況：4名（1～3年生）

④地域交流・連携 活動一覧（2022年度）

・トライやる・ウィーク

概要：近隣の中学校の2年生に5日間（9:00～15:00）、本学の様々な部署の仕事を体験いただく職場体験企画。

日程：2022年11月7日（月）～11日（金）

受入状況：3名（太山寺中学校、桃山台中学校）

・学園夏祭り

概要：学園西町連合自治会・学園東町連合自治会主催の『学園夏祭り』が学園都市駅前のユニバードームで開催され、本学の和太鼓部と軽音楽部がステージプログラムに出演し演奏を行った。会場には子どもからお年寄りまで多くの地域の方々が来場いただく企画。

なお、2020・2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったが、2022年度については、感染症対策実施の上、ステージプログラムのみ開催された。

日程：2022年8月7日（日）